

主な特長

SRS-A71は、アンプを内蔵した小型スピーカーシステムです。ディスクマンやウォークマンなどをつないで迫力ある音で聞くことができます。

豊かで迫力ある音を楽しめます

- ・実効出力7.5W+7.5Wのハイパワーアンプ内蔵。
- ・再生音量にかかわらず豊かな低音に補正する、MEGA BASS回路内蔵。
- ・迫力ある低音を再現するダイナミックサウンドダクト機構。
- ・ディスクマンやウォークマンとテレビなどを同時につなげる、2系統の入力端子を装備。

- ・迫力ある重低音を再生するスーパーウーファーをつなくための、ウーファー出力端子を装備。
- ・音源に合わせて音質を調整できるTREBLEコントロール。

テレビのそばにも置けます

- ・テレビやモニターのそばに置いても画面に影響を与えることが少ない防磁型設計(防磁型/EIAJ*)。
- ・ヘッドホンジャック付き。

*日本電子機械工業会の略称です。

正しくお使いいただくために

安全上のご注意

安全について：

家庭用電源コンセント(AC100V)につないでお使いください。

電源コードについて：

電源コードを抜くときは、コードを引っ張らずに、必ずプラグを持って抜いてください。

留守にするときは：

ご旅行などで長い間お使いにならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

異物について：

特に、ジャックには異物を入れないでください。故障や事故の原因になります。

異常や不具合が起きたら：

万一、異常や不具合が起きたときや異物が中にはいったときは、すぐに電源コードを抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

取り扱い上のご注意

- ・スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- ・キャビネットが汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。

- ・次のような場所は避けてください。
 - ・直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所。
 - ・窓を閉め切った自動車内(特に夏季)。
 - ・風呂場など、湿気の多い所。
 - ・ほこりの多い所、砂地の上。
 - ・時計、キャッシュカードなどの近く。(防磁設計になっていますが、録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーの前面に近づけないでください。)
- ・平らな場所に設置してください。
- ・設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。

モニター画面に色むらが起きたら

このスピーカーシステムは防磁型のため、モニターのそばに置いて使うことができますが、モニターの種類により色むらが起こる場合があります。

色むらが起きたら

いったんモニターの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色むらが残るときは

スピーカーをさらにモニターから離してください。

さらに

スピーカーの近くに磁気を発生するものがないようにご注意ください。スピーカーとの相互作用により、色むらを起こす場合があります。

磁気を発生する物

ラック、置き台の扉に装着された磁石、健康器具、玩具などに使われている磁石など。

主な仕様

アンプ部(左スピーカー)	
実効出力	7.5 W+7.5 W (EIAJ*)
入力	ピンジャック(INPUT 1) ステレオミニジャック(INPUT 2)
ウーファー出力	ミニジャック(モノラル)
ヘッドホン出力	ステレオミニジャック
入力インピーダンス	4.7 kΩ (1 kHz)

スピーカー部	
型式	2WAY パスレフ型
使用スピーカー	ウーファー 直径65mm防磁型 ツイーター 直径30mm防磁型

インピーダンス	8 Ω
定格入力	8 W

電源部・その他	
電源	DC 15V
最大外形寸法	約89×292×170 mm(幅/高さ/奥行き)
質量	左スピーカー約910g 右スピーカー約790g

付属品	AC/パワーアダプター(1) 接続コード(ピンプラグ× 2 ↔ステレオミニプラグ) 取扱説明書(1) 取扱説明書(安全のために)(1) 保証書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1)
-----	---

別売りアクセサリ	プラグアダプターPC-234S(ステレオ標準プラグ ↔ステレオミニジャック)、PC-236MS(ミニプラグ ↔ステレオミニジャック) スーパーウーファーSRS-PC3DW 接続コードRK-G136
----------	--

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

本体のCEマークはEU加盟国で販売されている製品にのみ有効です。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- ・保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではアクティブスピーカーシステムの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

SONY

3-858-560-43(1)

アクティブスピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告**

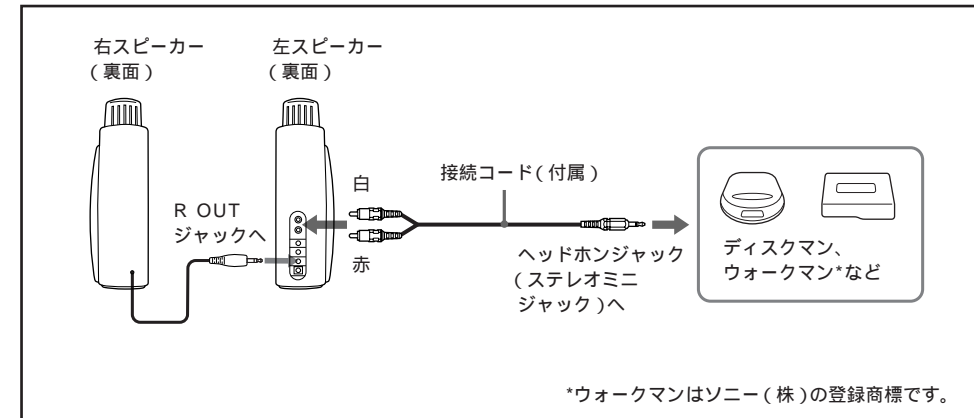
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SRS-A71

Sony Corporation ©1996 Printed in Philippines

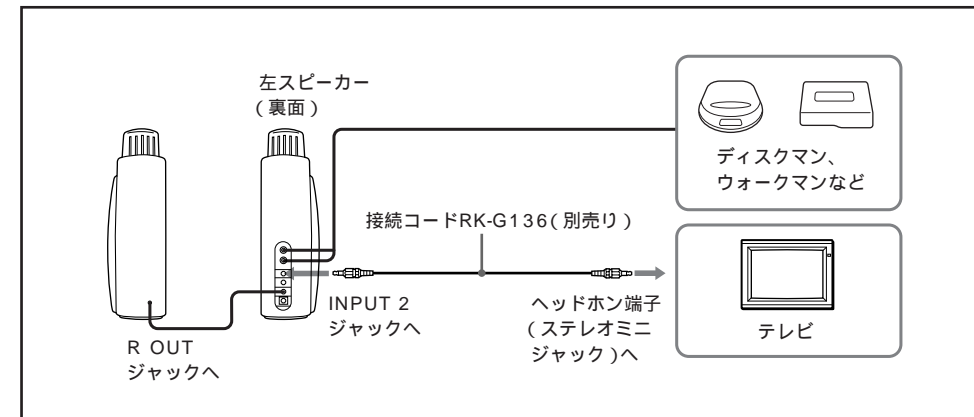
接続



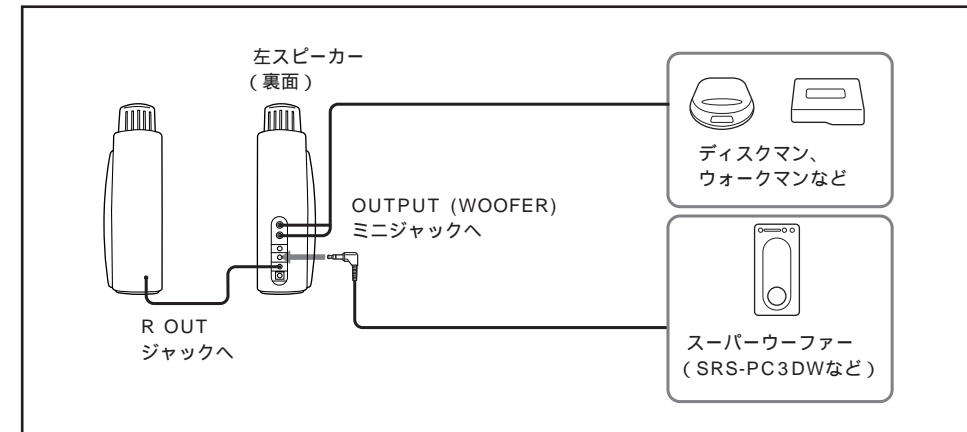
左スピーカーを、お聞きになる機器につないでください。ラジオなどのモノラルジャックにつないだときは、左スピーカーからしか音が出ないことがあります。別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138を使うと左右のスピーカーから音が出ます。

標準タイプのヘッドホンジャック(カセットデッキなど)につなぐには別売りのプラグアダプターPC-234S、または接続コードRK-G138をお使いください。

2台目の機器をつなぐには

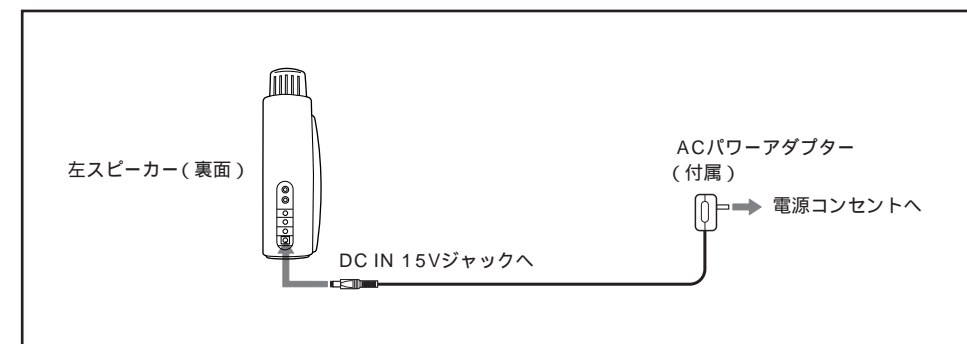


スーパーウーファーなどをつなぐには



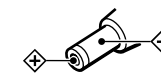
つないだスーパーウーファーなどの音量は、本機のVOLUMEつまみと連動して調節できます。

電源コンセントにつなぐ



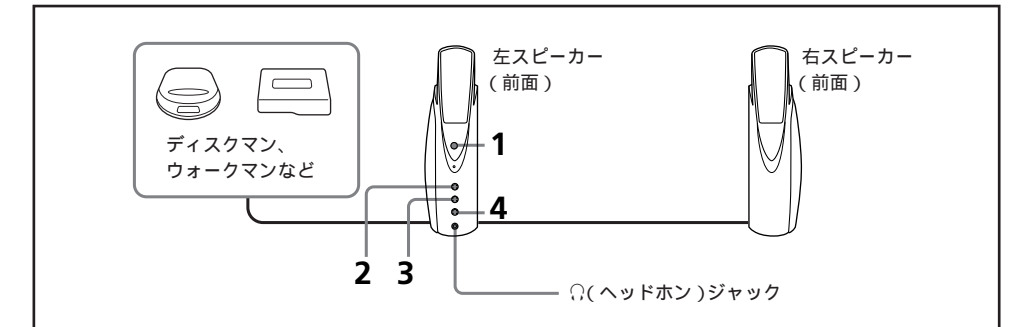
長時間使用しないときは、ACパワーアダプターをコンセントから抜いてください。

ご注意
この製品には、付属のACパワーアダプター(極性統一形プラグ・EIAJ規格)をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

使いかた



- 1 **POWER**スイッチを押して**ON**にする。
電源ランプが点灯します。
- 2 **VOLUME**つまみで音量を調節する。
- 3 **TREBLE**つまみでお好みの音質に調整する。
- 4 **INPUT**バランスつまみで**INPUT 1**と**INPUT 2**からの音量を調節する。
お好みのバランスでミックスできます。

ご注意
ウォークマンやディスクマンのベースブースト機能は解除してください。ひずみの原因となることがあります。

ヘッドホンで聞くには
別売りのヘッドホン(左スピーカーのΩ(ヘッドホン)ジャック)につなぎます。この場合、スピーカーからは音が聞こえなくなります。また、OUTPUT (WOOFER) ジャックの出力も切れます。

聞き終わったら、POWERスイッチを押して**OFF**にしてください。電源ランプが消えます。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
音が割れる。	入力信号が大きすぎる。	接続した機器の音量を下げる。
音が小さい、または音が出ない。	POWERスイッチがOFFになっている。 VOLUMEつまみが最小(MIN)に絞られている。	POWERスイッチをONにする。 VOLUMEつまみで調節する。
	入力コードがしっかり接続されていない。 入力信号が小さすぎる。	入力コードを確実に接続する。 接続した機器の音量を上げる。
	ヘッドホンがΩ(ヘッドホン)ジャックに差し込まれている。	ヘッドホンを抜く。
	INPUTバランスつまみの位置が合っていない。	INPUTバランスつまみを回してINPUT 1とINPUT 2からの音量を調節する。

以上の処置を行っても改善されないときは故障と考えられます。お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。